

洪水浸水想定区域の指定について

国土交通省・宮城県では、想定最大規模降雨により、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を「洪水浸水想定区域」として指定し、その区域および浸水した場合に想定される水深・浸水継続期間を示した「洪水浸水想定区域図」を公表しています。併せて、家屋などの倒壊・流出をもたらすような激しい氾濫流や河岸浸食の発生が想定される「家屋等氾濫想定区域」も公表しています。

■想定最大規模降雨とは？

「想定最大規模降雨」の降雨規模は、1000年に1回程度を想定しています。毎年の発生確率は低いですが、規模の大きな降雨であることを示しています。

■宮城県内の「洪水浸水想定区域」指定状況と市内の「洪水浸水想定区域」指定状況について

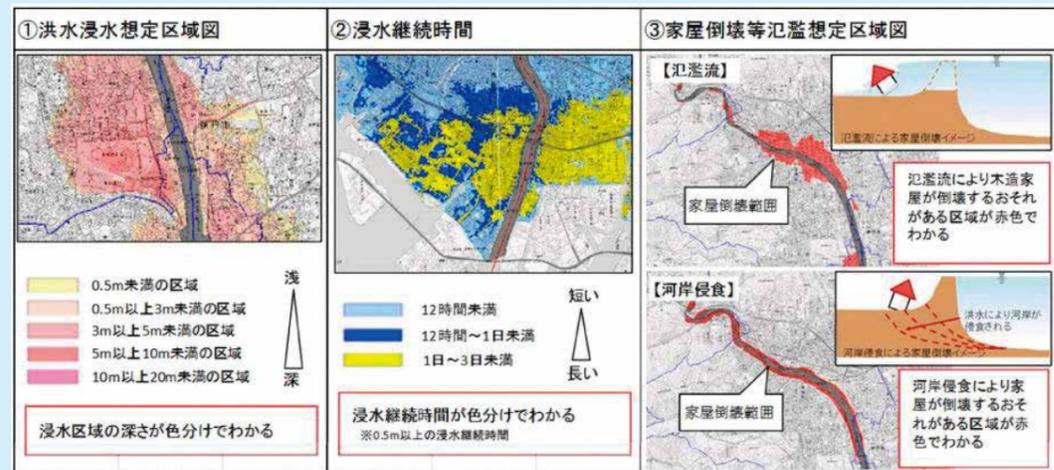
令和4年5月末現在、112河川を指定しています。今後も順次指定を推進していく予定となっています。本市では、次の10河川が指定されています。この指定を受け、本年度中に「白石市ハザードマップ」を更新し、全世帯に配布する予定です。

河川名	洪水浸水想定区域指定日	河川名	洪水浸水想定区域指定日
白石川	平成29年5月30日	高田川	令和4年5月31日
斎川	平成29年5月30日	平家川	令和4年5月31日
谷津川	令和4年3月15日	大太郎川	令和4年5月31日
塩川	令和4年3月15日	児捨川	令和4年5月31日
沢の内川	令和4年3月15日	天津沢川	令和4年5月31日

■公開先

宮城県WEBサイト「みやぎの河川」にて、宮城県内の洪水浸水想定区域の指定状況・洪水浸水想定区域図を確認することができます。

みやぎの河川
QRコード▶



▲洪水浸水想定区域図などの表示例

災害に備えて！

とるべき行動を今一度確認しよう！

☎危機管理課 ☎22-1452

これから台風や豪雨が発生する本格的な季節を迎え、全国各地では毎年のように大規模な災害が発生しています。大切な命を失わないためにも、一人一人が「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、災害時における自分自身のとるべき行動を確認しておきましょう。

土砂災害や川の氾濫など危険が差し迫っている場合は、ためらわずに安全な場所や避難所への早めの避難をお願いします。

【写真】大平公民館前の威徳寺川の氾濫に伴う市道坂谷線の冠水（令和元年台風第19号）

●自分自身のとるべき行動を確認しておきましょう！

情報の入手方法を確認

緊急性の高い情報は、「しろいし安心メール」や「白石市公式LINE」で発信しています。



ハザードマップで危険がないか確認

ハザードマップで自分が住んでいる場所や周辺に危険がないか確認しましょう。色が塗られている場合、浸水などの恐れがあります。

どの場所に災害の危険性があるのか、また、災害時に速やかに避難できるよう、避難場所や経路などについても事前に確認しておきましょう。



●避難が必要となった場合は落ち着いて行動しましょう！

あらかじめ最低限の必需品を準備

いざというときに備えて、非常持ち出し品を準備しましょう。水や食料などを非常備蓄として準備しておくことも大切です。

また、非常時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサックなどに詰めておき、いつでも持ち出せるようにしておきましょう。



安全な場所へ早めの避難

避難が必要な状況になった際は、直ちに命を守るため、安全な場所へ避難しましょう。

安全な場所にいる人は、指定避難所へ行く必要はありません。また、避難先は小・中学校、公民館だけではありませんので、安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。

